

# 美術史・文化遺産特殊講義2B－II

科目ナンバリング FAH-204  
選択必修 2単位

岡部 昌幸

## 1. 授業の概要(ねらい)

日本の近世絵画史において、1つの大きな流れを形成した「琳派」をとりあげる。授業では、毎回、琳派の画家や作品に関する重要な論文や、最新の研究などを詳しく解説し、受講生が美術史の様々な研究方法について知ることを目的とする。さらに、琳派の特質や、それを受容した日本人の美意識や歴史的背景についても考察したい。こうした諸知識をふまえて、受講生に琳派の作品の読み方を伝えたい。

## 2. 授業の到達目標

1つの絵画作品について、史資料を用いて多角的に考察する方法を知ること。美術史研究の専門的な方法論を身につけ、受講生によっては卒業論文に活かせることを目標にする。

## 3. 成績評価の方法および基準

学期末試験(60%)と平常点(リアクションペーパーの質)(40%)をもとに評価する。

## 4. 教科書・参考文献

## 5. 準備学修の内容

授業内で紹介した論文を読んでもらうことがあります。

## 6. その他履修上の注意事項

オンライン授業にすることがあります。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容と進め方の説明
- 【第2回】 「琳派」とは何か
- 【第3回】 俵屋宗達と本阿弥光悦①
- 【第4回】 俵屋宗達と本阿弥光悦②
- 【第5回】 俵屋宗達工房
- 【第6回】 尾形光琳①
- 【第7回】 尾形光琳②
- 【第8回】 尾形光琳③
- 【第9回】 渡辺始興
- 【第10回】 酒井抱一①
- 【第11回】 酒井抱一②
- 【第12回】 鈴木其一
- 【第13回】 近現代の琳派
- 【第14回】 展覧会見学会
- 【第15回】 まとめと試験